

# 中国四国教育学会第 72 回大会報告

中国四国教育学会事務局

〒739-8524 東広島市鏡山 1-1-1

広島大学大学院人間社会科学研究科教育学講座内

cssse@hiroshima-u.ac.jp

2020年11月21日（土）、22日（日）の両日、広島大学を大会会場に中国四国教育学会第72回大会を開催することができました。ご参加いただいた多くの会員の皆さまに御礼を申し上げるとともに、会場校をお引き受けいただいた広島大学大学院人間社会科学研究科教育科学専攻長（教育学講座主任）小川佳万大会実行委員会委員長をはじめ、開催を支えていただいた教育学講座を中心とする実行委員会の先生方に深甚の感謝を申し上げます。大会実行委員会の積極的ご協力により、昨年度に引き続き従来事務局で担当していた発表部会の編成、プログラムの作成も実行委員会にお引き受けいただき、事務局としては大いに感謝するところです。

周知のように、2020年は、「新型コロナ」への対応で、多くの学会が中止ないしは順延あるいはオンライン形式での開催を余儀なくされた年でした。中国四国教育学会も、大会校を引き受けいただいた広島大学の実行委員会を中心に、大会の開催のあり方をめぐって議論を重ねながら、何より学会員の研究発表の機会を保障することを第一に、従来通りに、会場校が企画するシンポジウム及び自由研究発表の部会、そしてラウンドテーブルという3つの枠組みで大会を開催していただけたことに心より感謝を申し上げます。また、自由研究発表の場がオンライン形式になったにもかかわらず、多くの会員の皆様にご発表いただき、また各部会においては司会の先生を中心に、会員相互の質疑応答も活発に行っていただき研究交流を深めていただく機会になったことに安堵しております。

今大会は、二日間にわたり大会掲示板において25部会で154件の自由研究発表が行われました。掲示板への登録者数は224名でした。ラウンドテーブルは4件行われ、いずれもオンラインで実施されました。大会1日目の午後には、広島大学教育ビジョン研究センター（EVRI）との共催で、公開シンポジウムが対面とオンラインのハイブリッド方式にて開催されました。対面28名、オンライン57名、EVRI経由でのオンライン36名で合計121名のご参加をいただきました。ゲストとして、オンラインで参加いただいた田端健人氏（宮城教育大学）、オンデマンドで参加いただいた大門正克氏（早稲田大学）から、貴重なご提案をいただき、学会の研究活動を刺激していただきました。あらためて感謝を申し上げます。おかげで、フロアとオンラインでの参加者で活発な議論を行うことができたかと思えます。

従来の対面型の開催なら大会前日に行われる理事会や大会第1日目の総会についてもオンライン形式で行うことになり、会務報告や会計報告、編集委員会報告等があり、学会ホームページに一定期間の周知をはかり、それぞれ了承、承認されました。なお次年度2021年第73回大会は、山口大学を会場として開催されることも承認されました。

次の大会が従来のように対面型で行われ、今回は行うことができなかった会員懇親会の席上で皆様とお会いできることを切に願っております。

【会長・深澤広明】

## ○自由研究発表・公開シンポジウム・ラウンドテーブル

今大会は、二日間にわたり大会掲示板において 25 部会で 154 件の自由研究発表を行いました。掲示板への登録者数は 224 名でした。ラウンドテーブルは 4 件行われ、いずれもオンラインで実施されました。

大会 1 日目の午後には、広島大学教育ヴィジョン研究センター (EVRI) との共催で、公開シンポジウムを対面とオンラインのハイブリッド方式にて開催をしました。対面 28 名、オンライン 57 名、EVRI 経由でのオンライン 36 名で合計 121 名のご参加をいただきました。まず司会者より趣旨説明がなされたのち、シンポジストの川口広美氏 (広島大学) より対面で「教師はどのように“コロナ”に向き合っているか・「授業」に対する語りを中心に-」を発表いただき、続いて田端健人氏 (宮城教育大学) がオンラインで「論争モデル」から「合意モデル」へ—東日本大震災による津波被害学校訴訟からの教訓—を、大門正克氏 (早稲田大学) がオンデマンドで「オンライン授業で『考える歴史／歴史学』を教える試み」を発表いただきました。そしてフロアとオンラインでの参加者で活発な議論を行いました。

## ○理事会・総会報告

理事会は、大会当日の 11 月 21 日 (土) にオンラインで開催され、総会に提出する事項についての審議等が行われました。

総会は、大会 1 日目に、掲示板を使って実施しました。事務局から事業報告、編集委員会からの報告などが行われました。続いて 2019 年度決算報告・会計監査報告、2020 年度予算案・中間決算報告、次年度大会校などについての審議がなされ、すべて原案通りに承認されました。また、会則の改正について審議し、編集委員長、事務局長を理事に加えることが承認されました。総会の内容は以下のとおりです。

### 中国四国教育学会・総会

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 報告事項<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 事業・会務報告</li><li>(2) 編集委員会報告</li></ol></li><br/><li>2. 審議事項<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 2019 年度決算報告・会計監査報告</li><li>(2) 2020 年度予算・中間決算報告</li><li>(3) 会則の変更について</li><li>(4) 次年度大会開催校について</li></ol></li></ol> |
|---|

## ○次年度大会のお知らせ

次年度の第 73 回大会は、令和 3 年 11 月に山口大学を会場として開催される予定です。会員の皆様のご参加をお待ちしております。

## 2019 年度決算報告

《収入》		2019年4月1日～2020年3月 31 日		
項目	予算	決算	決算-予算	
前年度繰越金	7,910,699	7,910,699	0	
学会費	3,880,000	3,720,000	▲ 160,000	
内訳：2019年度 (5,000円)	568名： 2,840,000	548名： 2,740,000	▲ 100,000	
2020年度以降 (5,000円)	100名： 500,000	115名： 575,000	75,000	
過年度 (5,000円)	108名： 540,000	81名： 405,000	▲ 135,000	
『教育学研究紀要』(CD-ROM版)掲載費	565,000	510,000	▲ 55,000	
	113件： 565,000	102件： 510,000		
その他収入	70	40,600	40,530	
内訳：預金利子	70	51	▲ 19	
CD-ROM・ジャーナル売上	6,400	7,560	1,160	
上記以外	0	32,989	32,989	
収入合計	12,355,769	12,181,299	▲ 174,470	
純収入(繰越金除く)	4,445,070	4,270,600	▲ 174,470	

《支出》		予算	決算	予算-決算
第71回大会経費	525,000	525,456	▲ 456	
内訳：会場校補助金	260,000	260,000	0	
会場使用料	0	0	0	
プログラム印刷費	170,000	165,240	4,760	
シンポジウム要旨集印刷費	35,000	59,000	▲ 24,000	
会議費	60,000	41,216	18,784	
『教育学研究ジャーナル』刊行費	1,524,000	1,203,251	320,749	
内訳：印刷・J-STAGE掲載経費	690,000	678,535	11,465	
会議費	200,000	132,716	67,284	
編集作業人件費	40,000	10,000	30,000	
委託費(査読サポート運用)	594,000	382,000	▲ 212,000	
『教育学研究紀要』(CD-ROM版)刊行費	441,000	428,700	12,300	
内訳：CD-ROM制作費	360,000	365,200	▲ 5,200	
冊子体制作費	11,000	0	11,000	
編集・校正作業人件費	70,000	63,500	6,500	
研究推進費	800,000	800,000	0	
内訳：「課題研究」助成金(200,000円/件)	3件： 600,000	3件： 600,000	0	
(新規：100,000円/件)	2件： 200,000	2件： 200,000	0	
事務局会議費(理事会等、事務局会議等)	143,740	155,942	▲ 12,202	
事務局旅費	36,920	19,240	17,680	
封筒印刷費	30,000	9,680	20,320	
通信発送費	360,000	300,420	59,580	
会長選挙実施関連経費	70,000	44,610	25,390	
振込手数料負担金	102,000	102,015	▲ 15	
事務局人件費(含源泉徴収税、労災保険料)	934,050	769,107	164,943	
消耗品費	100,000	48,841	51,159	
予備費(銀行振込手数料・労災保険料等)	50,000	18,092	31,908	
支出合計	5,116,710	4,425,354	691,356	

### 【次年度繰越金】

収入－支出＝12,181,299－4,425,354＝ 7,755,945

純収入－純支出＝4,270,600－4,425,354＝ ▲ 154,754

## 寄 贈 図 書

(2019.12.01～2020.11.30)

### ○図書

- ・山田 直之『芦田恵之助の教育思想—とらわれからの開放をめざして—』春風社、2020年8月7日

### ○紀要・ニュースレターなど

- ・『京都教育大学大学院連合教職実践研究科年報』第9号、京都教育大学大学院連合教職実践研究科、2020年3月
- ・『教育雑誌』第56号、日本大学教育学会、2020年3月25日
- ・『中部教育学会紀要』第20号、中部教育学会、2020年6月30日
- ・『関西教育学会研究紀要』第20号、関西教育学会、2020年8月31日